

# ちむ美らさ

発行：北部農林水産振興センター  
農業改良普及課  
住所：沖縄県名護市大南1-13-11  
電話：0980-52-2752  
FAX：0980-51-1013

目次	4P・台風対策事例 (野菜・花き)
1P・課長あいさつ、体制図	5P・サツマイモ基腐病
2P・セグロリビア緊急防除	6P・転入者あいさつ
3P・土壌検診週間 ・かんきつ・ゴマダラがミクリ防除	・新規就農講座案内

## 北部地区の農業振興及び農村の活性化を目指して

北部地域は県農業産出額の32.5%を占める農業地域となっています。地域の農林水産業は農産物の生産に加え、県土の保全、地域社会の活性化等を担っており、新規就農者や担い手の育成・確保及び産地の育成等、重要課題が多岐に渡っています。このような課題の多様化、高度化に伴い研究機関や市町村、農業団体等と連携し、課題と対象の重点化を図りつつ直接農業者に接して、農業者の技術や経営能力の向上を図り、拠点産地の育成及びこれを担う優れた農業者の育成確保を目指して普及活動を展開していきます。

具体的には、下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを重点的に展開してまいります。



農業改良普及課  
なごどう よしたか  
課長 長堂 嘉孝

### 1. 担い手の育成・確保と経営力の強化

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、女性農業者の経営参画促進などの取り組みを支援します。

### 2. おきなわブランドの産地育成と生産体制の支援

亜熱帯気候等の本県の優位性を活かし、高品質で安全・安心な農産物を消費者や市場に定時、定量、定品質で供給することにより、おきなわブランドの確立と産地形成を支援します。

### 3. 環境に配慮した持続可能な農業生産

農業の持続的な生産活動のため、適正施肥技術、減農薬・減化学肥料栽培等の環境負荷の低減技術推進を通して、エコファーマー、特別栽培農産物、認証GAPを推進します。

### 4. 魅力と活力ある農村の振興

農村の地域づくりを推進する農業者や活動組織等の地域リーダーの育成・確保を推進するとともに、産地育成に適した農業振興による地域の活性化を図っていきます。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆さまには今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。  
(北部・農業改良普及課長 長堂嘉孝)

令和8年度  
北部農林水産振興センター  
農業改良普及課

課長

長堂 嘉孝

#### 普及企画班

班長 ★ 玉木 力  
主幹 富山 あずさ  
主幹 島袋 律子

地域調整 ★ 玉木 力  
農業経営 諸喜田 吉輝  
担い手 富山 あずさ、座喜味 利将、儀間 宏美  
地域営農 島袋 律子  
庶務 ★ 竹内 千夏

#### 地域特産振興班

班長 ★ 宮城 明生

作物 與座 朝成  
工芸作物 上原 理  
畜産 ★ 安仁屋 政竜  
農産物活用 高橋 さおり(臨任)

#### 園芸技術普及班

班長 ★ 儀武 香代子

野菜 ● 新里 寿順、★ 土屋 泰三  
花き 富名腰 早那恵、★ 儀武 香代子  
果樹 ★ 伊地 良太郎、光部 史将、★ 山川 凜

伊江村駐在 ★ 金城 樹  
伊是名村駐在 ★ 宮城 諒大  
伊平屋村駐在 譜久嶺 雄人

★:R8年度転入者  
●:R8年度課内異動者



バックナンバーは右のQRコードでご覧になれます。

海外からの侵入害虫

## セグロウリミバエ 緊急防除に関して

体長  
8～9  
mm

セグロウリミバエ

## 生産者の皆様へのおねがい

- ①緊急防除の対象作物を栽培している方のうち、少しでも沖縄本島外へ移動の可能性のある方は、すみやかに**移動検査申請**を行ってください

※申請窓口は主な圃場のある市町村となります。

- ②施設栽培では、防虫ネットのメンテナンスや入口の二重カーテン等で虫の侵入を防ぎましょう  
(他の病害虫の防除にもつながります)

ネットの目合いは  
2mm以下

- ③栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう  
放置された果実からも多くの幼虫や蛹が見つかっています！

- ④不要な果実は集めて埋設するか、ビニール袋に入れて密閉し虫を死滅させるなどして、虫の侵入拡大を防ぎましょう

- ⑤適切な薬剤防除により虫の侵入を防ぎましょう

★植物防疫法に基づき散布できる農薬のリストがあります。(侵入地域に限る)

※下記 沖縄県営農支援課HP参照



- ⑥もし果実の中にウジ(幼虫)を見つけたら、すぐに下記にご連絡ください



## 寄生する果実

ウリ類 (ゴーヤー・ヘチマ・モーウイ・かぼちゃ・スイカ・メロン・トウガン・きゅうりなど)、ピーマン、トマト、パッションフルーツ、パパイヤ、グワバ、ドラゴンフルーツ その他

連絡先

▶沖縄県病害虫防除技術センター : 098-886-3880

▶北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752

↓セグロウリミバエに関する最新情報はこちら↓

## 沖縄県営農支援課HP



セグロウリミバエのまん延防止対策  
・セグロウリミバエの防除に  
使用できる農薬リスト  
・移動検査申請書様式・梱包例等

## 沖縄県病害虫防除技術センターHP

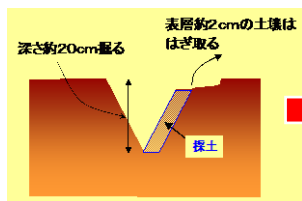


セグロウリミバエの  
トラップ誘殺及び  
寄生果の確認状況について  
(約2週間に1度更新)

## 令和8年度「土壌検診週間」について

今年度も北部地区土づくり運動推進協議会で、「土壌検診週間」にて土壌分析を実施する予定です。分析項目は、**PH・EC**のみとなります。サンプル提出締め切り日は**6月5日(金)**までとなります。ご希望の方は、以下のように土壌サンプルを採取し、申請書を添付の上お申し込みください。

### ①土壌採取の仕方



表層を1～2cm（果樹は5cm）、はぎ取ってから、深さ約20cmV字型に掘ります。それから穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り取ります。

### ②土壌の乾燥



採取した土を細かくほぐし、新聞紙の上に土を広げます。雨に濡れない風通しの良いところで約1週間乾燥を行います。

### ③土壌の粉碎



小石や根などを取り除き、ピンなどで土壌を細かくします。土壌粒子が約2mm以下になるまで粉碎しましょう！（ネットなどでふるう）

### ④土壌の提出



粉碎したら、土壌約300g（お茶碗1杯程度）をポリニールに入れ、申請書を添付して提出してください。また袋にも名前、畑名を記入してください。ポリニールの中に申請書と土壌を一緒に入れられないよう注意してください！



#### 注意

- ・正確な分析のため土壌に堆肥、化成肥料、作物残渣が混ざらないようにしてください。
- ・湿った土壌、粉碎されていない土壌は分析できません(受付できません)。

(担当：富名腰)

## 【かんきつ】主幹株元散布による省力的なゴマダラカミキリ防除



ゴマダラカミキリは主幹から株元、根にかけて好んで産卵する習性があるため、この部位を重点的に防除するのが効率的です。時期は5～7月がおすすです。



樹全面散布と比較して作業時間・使用薬液量を大幅に削減可能

使用例 作物名：かんきつ、適用病害虫：ゴマダラカミキリ (2026年4月現在)

農薬名	希釈倍数	方法	使用時期	散布液量	同一有効成分を含む総使用回数
モスピラン顆粒水溶剤	200～400	主幹から株元に散布	収穫14日前まで	30～75L/10a	3回以内
アクセルフロアブル	200	主幹から株元に散布	収穫7日前まで	5～200L/10a	3回以内

登録情報は必ずラベルを確認してください。不明な点は果樹担当までお問い合わせください。

(担当：光部)

## 野菜の台風対策事例

### 事前対策

#### ●ゴーヤー

- ・つるを下ろし、防風ネットで被覆しましょう。
- ・台風通過後は、早めに株を起こし、再度誘引しましょう。



つる下ろし + ネット被覆

#### ●オクラ

- (切り戻し)
- ・倒伏防止等のため、台風接近前に約40cmの高さで切り戻しましょう。
- (株の固定)
- ・ひもを使い支柱に株を固定しましょう。



ハウスバンドによる固定

#### ●その他の事例

- ・葉野菜はコの字支柱を、使用してネットのうきがけを行いましょ。



葉野菜のうきがけ

- ・スイカ等、地這い栽培を行う野菜は、防風ネットでじかがけ被覆しましょう。



スイカのじかがけ

### 事後対策

#### ●作物を早期に回復させるため下記の作業を行いましょ。

- ・じかがけした防風ネットは早めに取り除く。
- ・倒れた株は早めに元に戻し、土寄せを行う。
- ・病害発生予防のため、登録のある殺菌剤を散布する。
- ・早めに散水し、葉や茎についた塩分や土は洗い流す。
- ・葉面散布用肥料を散布し、草勢回復を図る。

(担当：新里・土屋)



## 花きの台風対策事例



### 事前対策

- ・防風ネットを利用して、風対策を行ないましょ。
- ・マルチは土のう等で押さえましょ。
- ・キクでは親株から採穂して冷蔵保管ましょ。
- ・施設のネット等破損部分の確認・補修を行いましょ。



防風ネットのうきがけ

### 事後対策

- ・なるべく早く泥や塩分を洗い流し塩害等を防ぎましょ。
- ・殺菌剤の散布を行いましょ。
- ・破損した株や枝は早めに片づけましょ。
- ・うきがけの場合、台風通過後の強光対策で側面解放し、風通しをよくましょ。
- ・じかがけした防風ネットは早めに片づけましょ。



跳ね上がった泥を洗い流す

(担当：富名腰)



農作物等台風対策マニュアル (令和6年2月沖縄県農林水産部)  
※野菜、花き、果樹、さとうきび

# サツマイモ基腐病について

基腐病がまん延すると収穫量が激減します。北部地域でも毎年発生が確認されています。今年もまん延を防ぐために、「**持ち込まない**」「**増やさない**」「**残さない**」の対策を確実に行いましょう。

(担当：與座)

## ● 苗消毒

植付前に薬液（ベンレート）に苗全体を浸漬しましょう

**持ち込まない**

## ● 異常株の抜き取り

葉が赤・黄変、株元黒変した株は圃場外へ持ち出しましょう

**3つの対策を総合的に  
行うことが重要です**

**残さない**

**増やさない**

## ● 収穫後の耕耘

収穫後に耕うんを複数回行って、収穫残渣の分解を促進しましょう

## ● 他作物との輪作

ソルゴー等の緑肥やサトウキビ等との輪作を行いましょう

## ● 薬剤防除

台風襲来前に基腐病に登録のある殺菌剤を茎葉散布しましょう（例）Zボルドー等の銅剤

## 基腐病以外のかんしょの病気

例年、基腐病以外の病気の発生もみられます。主に以下の病気の発生にも注意しましょう

### ・ 立枯病

植付後2週間頃から、葉色が黄色や赤紫色になってしおれ、地下部の根が黒褐色に腐ります。激しいと枯死、軽微だと塊根に黒色円形でやや陥没したかさぶた状の病斑を生じます。pH5.6以上や高温乾燥した土壤条件で発病が助長されます。①定植後1カ月は乾燥させない②pHを上げすぎないよう石灰質資材の投入に注意しましょう。



### ・ 乾腐病

主な症状は貯蔵中の塊根の腐敗ですが、茎葉に基腐病と類似した症状が生じることがあります。①発生畑から苗は取らない②早めに掘り取る③傷を作らない（つる返し等）④残渣はすき込み分解しましょう。



## 害虫防除も忘れずに！

かんしょにできた害虫の傷口からフザリウム属菌等が侵入・感染して腐敗します。土壌中の害虫（コガネムシ・ハリガネムシ類）を防除し食害を防ぎましょう。

## 新規就農講座

北部地区の市町村、生産組織、普及課が構成員である“北部地区農でグジョブ推進会議”では、青年農業者資質向上のための「新規就農講座」を開催しています。

### 受講対象者

北部管内で就農している認定新規就農者、就農支援関連事業※1の受益者  
就農5年未満の新規就農者、かつ、講座未受講者で全10回受講できる者

※1 新規畑人資金支援事業(就農準備資金、経営開始資金)、経営発展支援事業  
農業次世代人材投資事業(準備型、開始型)新規就農一貫支援事業  
農業後継者育成確保事業や市町村・農業関係団体が実施している各種研修事業の研修生等

### 開催期間と内容

令和8年 6月～11月

①農家講話とミニ交流会 ②農業経営の基礎 ③土づくり、病害虫と農薬使用、環境にやさしい農業 ④野菜の基礎 ⑤さとうきび・甘藷・畜産・6次化の基礎 ⑥果樹・花きの基礎 ⑧農作業安全と機械実習 ⑨市場の仕組みと事例紹介・ミニ交流会 ⑦⑩現地視察(農家圃場等) 全10回(座学7回・実習1回・視察2回)

### 開催場所

沖縄県北部合同庁舎1階農業改良普及課会議室(離島のみ、座学のZoom参加可能)・現地

### 定員

20名 (離島のZoom参加者は別枠で座学のみ受講可能)

### 受講料

無料 ※但し、講座期間中の交通費等の受講に際し必要な経費は受講生の自己負担

### 申込方法と申込書提出

各市町村の農政窓口で受付、  
令和8年4月末～5月22日(金)まで

(担当：儀間・富山・座喜味)